

町会だより 和田三丁目東町会

2012 5月号



5月度役員会・班長連絡会（5月9日）

1、報告事項

(1) 5月21日の杉十フレンズ主催の「金環日蝕観察会」へ地域協力者の参加要請があったので、役員から5〜6名参加する。この旨主催者へ連絡して受け入れ準備をしてもらう。当日の登校児童見守りのやり方は別途打ち合わせる。

(2) 今年のクリーン大作戦は10月6日（土）に実施することを町会長会議で申し合わせた。

(3) 青少年育成委員会から和田地区町会の協礼金増額の要請があった。町会長会議で倍額で協力することを申し合わせたので、年5千円が1万円になる、

2、定時総会関連事項

(1) 前月の役員会でお願した新年度の役員の役職、管掌事項の変更等については、役員名簿に記載どおりで了承された。

(2) 予算については4月19日の決定どおりで総会に提案する。ただし新年度予算支出は126万円となっていて、通常の収入額116万円からすると10万の赤字予算予算になっている。23年度は支出が予算額に対し減額となり剰余金が、7

万円増加した結果となったので、実質剰余金を150万円のレベルを維持するために、本24年度は経費支出を3万円抑制するつもりで各部運営をお願いする。

3、バス旅行の関連事項

6月11日のバス旅行は参加者が少ない心配がある。25日の最終人数決定までに「町会だより」でのPRを含めて、積極的に勧誘活動を進める。

4、班長会の段取りについて

(1) 18日には新班長の顔ぶれが出揃う予定なので、回覧順を早々に決めて次回回覧番表を作成する。

(2) 回覧辞退者に対しての重要回覧物等の通知に遺漏のないように配慮をお願いする。

(3) 和田地区町会連合会の町会加入勧奨チラシを有効利用する。

5、町会員用減災の手引きの作成プロジェクト

(1) プロジェクトリーダーは間さんに引き受けて戴くことになった。

(2) 個々人の避難行動に役立つ情報の提供を「町会だより」を使って、基本的に6回のシリーズで最長一年間行う。

災害に備えて（お役立ち情報）

昨年の東北大地震以降、震度7以上の首都直下型地震発生の可能性が高まり、我々町会員も自らは自らの力で守ると云う気概での対応を迫られています。当町会としては、災害発生時に皆様のお役に役立つ情報を今後「町会だより」に1項目づつ掲載し、皆様に活用頂き、皆様と共に減災を推進していきます。

無料電話伝言板の活用（安否確認等）

地震やその他の大災害発生時には被災地間、または被災地への電話ががなりの長時間かかりにくくなります。その際、比較的容易に家族や縁者間の安否確認ができるのが、NTTが災害発生時に立ち上げる**伝言ダイヤル・システム**です。日頃から家族間で、災害時の情報伝達方法を相互に確認したうえで、予行体験を行い、災害発生時にそなえましょう。

ダイヤル

1711〜1固定電話 伝言を録音

1712〜2固定電話 伝言を再生

「171」をダイヤルして利用ガイダンスに従い、伝言の録音・再生を行ってください。必ず**市外局番よりダイヤル**する

予行体験可能日

毎月1日と15日0時〜24時

蓄積伝言…10伝言

録音時間…30秒

録音保存…48時間

携帯電話よりのアクセスは携帯会により個別対応

伝言を伝えるその他の簡単な手段は、被災地から離れた比較的電話が繋がりがやすい地域に住む親族や友人に、伝言を伝え、情報の発信基地とすることも有効な手段です。電子メールやツイッターも日頃から検討しておきましょう。

15日に予行体験を実行しましょう！

町会親睦バス旅行

100万本の花菖蒲とさかなセンターでのお食事、お買いもの旅

参加費4500円（会員外5000円）

日時 6月11日（月）午前7時集合

集合 青梅街道ソフトバンク前

申し込み 回覧板、町会役員まで

まだ間に合います、ご近所の方をお誘いしてぜひとも参加しましょう！！



竜巻の発生による災害がいろいろ報道されています。天災はいつ襲いかかるかわかりません。日頃からの準備を。